

愛育委員会 だより

第7号

令和3年3月発行



お熱はないかな？



換気や消毒など、
感染防止策を
とっています



里庄町愛育委員会は

乳幼児から高齢者まで全ての住民にとって健康で住みよい地域にするために、行政と協力しながら地域の健康づくりのために活動している組織です。健康の保持増進のための普及啓発活動とあわせて、身近な人に声をかけ、人と人を繋ぐ役割を担っています。

今年度は、産業文化祭や健康まつりが中止になり、声かけの機会が少なく残念でしたが、定例会では、マスク着用・体温測定・アルコール消毒を励行し、席の間隔をあけるなどして研修しましたので、内容についてご紹介します。

8月の愛育委員会では、「認知症サポーター養成講座」を受講しました。サポーターの役割は、認知症について正しい知識と理解を持ち、認知症の人や家族を見守り、できる範囲で支援することです。



●● 認知症かな?と思ったら

早期受診・診断、早期治療が大事です。

加齢によるもの忘れと認知症の記憶障害は違いがあります。

加齢によるもの忘れ	認知症の記憶障害
経験したことが思い出せない	経験したことを忘れている
目の前の人を思い出せない	目の前の人をわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置忘れ、紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたことじたいを忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したことじたいを忘れている
物覚えがわるくなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある

病気が理解できる時点で受診し、少しずつ理解を深めていけば生活上の障害を軽減でき、その後のトラブルを減らすことも可能です。

正しい見立てで、起きている症状の原因を推定し、支援・治療方針を決め、現実的な対応をすることが重要です。

コロナ禍での運動不足による健康二次被害を予防するために

感染予防対策をしっかりした上でサークル活動など人との交流、買い物などの外出も健康を保つ上で重要です。



無理せず、少しずつ体を動かす機会を増やしていきましょう。
病気や痛みなどがある方は、かかりつけ医に相談してください。

12月の愛育委員会では里親制度について学びました。

あたたかい家庭を必要としている子どもたちがいます 広げよう『里親』の輪



家族の温かさを知らない子どもたち、当たり前の日常が得られない子どもたち。それぞれの事情で家族と離れて暮らす子どもを自分の家族に迎え入れ、さまざまなサポートを受けながら養育するのが「里親制度」です。

里親の種類

養育里親

18歳未満の子どもを、家庭に戻るまでの間や自立するまでの間、養育します。期間は1年以内の短期の場合もあれば、それ以上の長期の場合もあります。

養子縁組里親

養子縁組を結ぶことが前提です。養子縁組が成立するまでの間、里親として一緒に生活します。

季節・週末里親

週末や長期休暇などに、数日から1週間ほど子どもを養育します。平日は子どもとの時間が取れない人や、最初から長期で養育するのが不安な人などに向いています。

子どもを迎え入れるまでの4ステップ

STEP 1 相談

児童相談所や里親支援機関に相談を。里親の条件や手続きなどを説明します。

STEP 2 研修・家庭訪問

児童養護施設や乳児院などでの実習を含む数日間の研修と、家庭環境の調査があります。

STEP 3 登録

都道府県等の審査を経て、里親として登録されます。

STEP 4 交流

面会や数時間の外出、宿泊などで、子どもと一緒に過ごします。

子どもを家庭に迎え入れる

里親についてもっと詳しく知りたいときは…

朝日新聞デジタル特設サイト
「広げよう『里親』の輪」

<https://globe.asahi.com/globe/extra/satooyanowa/index.html>

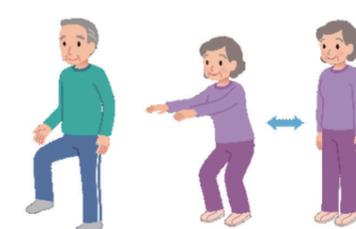


感染をしっかりと予防しながら、体を動かそう!

Step1
座っている時間を減らす



Step2
片足立ちやスクワットなどの下肢筋トレ



Step3
散歩や健康体操など



～健(検)診を受けて 健康寿命を延ばしましょう～

里庄町愛育委員会は、受診率の向上を目的に、健診のご案内と申込書の各戸配布をおこなっています。今年度の健診は、コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながらの実施となりました。



■ 特定健診を受診すると…

病気の芽を早期発見できる

脳卒中や心臓病、糖尿病など重症化するまで自覚症状が出ない病気を早期発見・早期治療することができます。

健康だと医療費が安くすむ

里庄町の特定健診費用は約12,000円ですが、自己負担1,200円で受けられます。

里庄町国保加入者の令和元年度一人当たりの年間医療費は、407,567円です。総医療費のうち約40%が生活習慣病によるものなので、早めに予防・治療し、重症化を防ぐことで医療費の削減が可能です。

